

# 動脈硬化検査

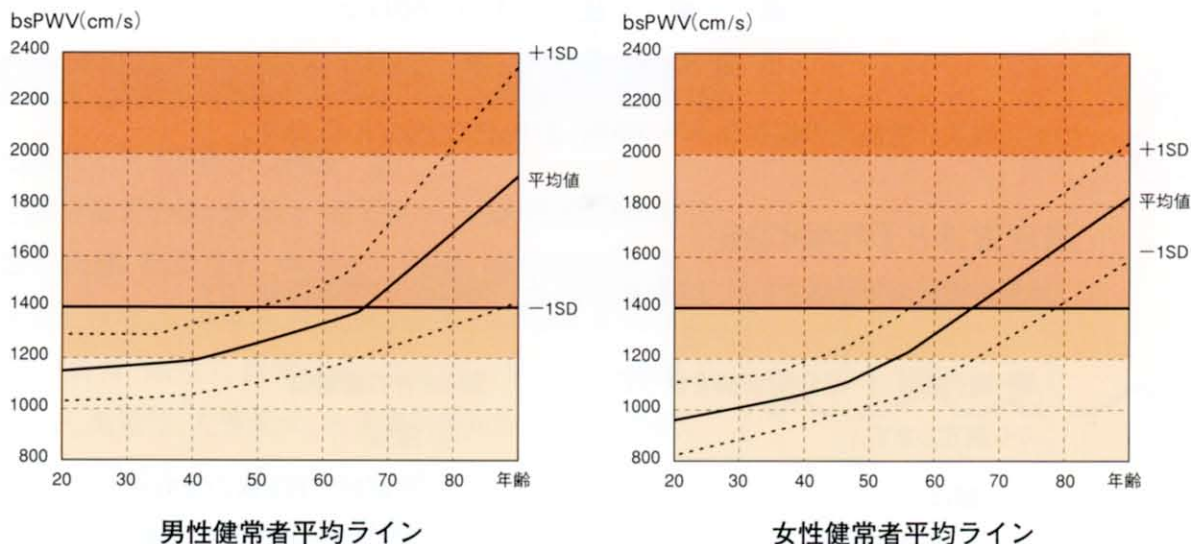
## 血圧脈波

両上腕と両足首の血圧および脈拍を同時に測定して、コンピュータが脈波速度を算出します。  
これにより動脈が詰まっているか（ABI）、動脈硬化の程度（PWV）を判定します。

**ABI**…………… 標準値は0.9～1.3で、0.9より低値の場合は動脈の狭窄もしくは閉塞（閉塞性動脈硬化症）が疑われます。

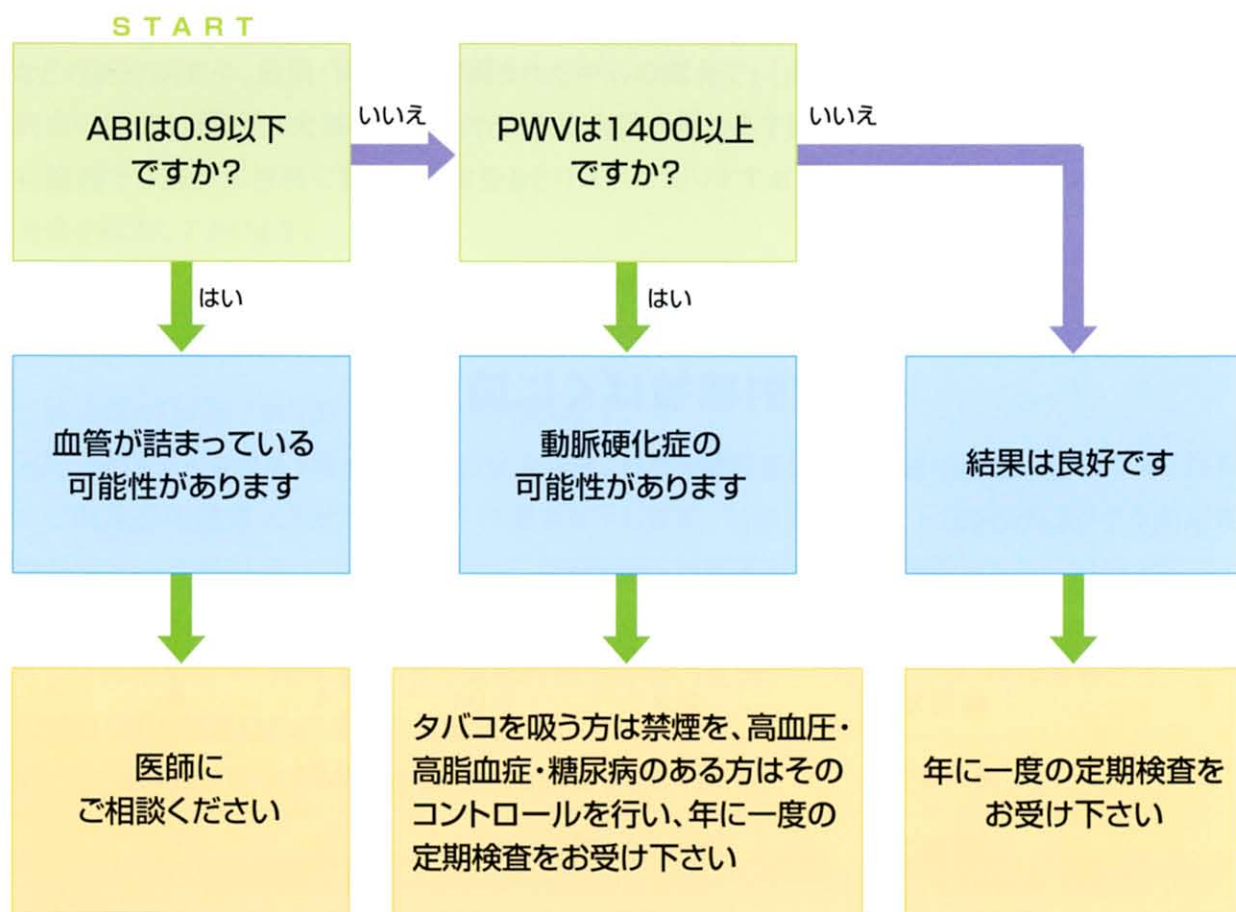
**PWV**…………… 性別および年齢により標準値が異なりますが、1200以下であれば正常です。  
下記のグラフから動脈硬化の程度を判定します。

### PWVと年齢



PWVは高値であるほど、脳、心疾患の発病リスクが高くなります。また、高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、喫煙歴、肥満のある方はさらに要注意です。

## 検査結果はいかがでしたか？



## 頸動脈超音波

頸部の動脈に超音波をあてて、動脈の内膜と中膜の厚さを測定します。動脈硬化があると、血管壁の肥厚（これをプラークといいます）が見られますが、これは内膜に粥状物質といわれるコレステロール由来の物質がたまったり、中膜にカルシウムが沈着することでおこります。

### 動脈硬化の血管断面

